

【岩国】岩国西中学校区大規模災害対応訓練

〈ねらい〉

地震災害における防災対策、避難対応及び避難所生活等の総合的な体験学習を実施し、児童生徒・地域住民等が、災害時において自ら考え行動できる実践力を育成するとともに、地域全体の防災力向上を図る。

実 施 内 容

- 1 実施日時：令和7年10月18日（土）・19日（日）
- 2 実施場所：岩国市立岩国西中学校
- 3 参 加 者：岩国西中学校生徒・保護者・教職員
杭名小学校児童・保護者・教職員
河内小学校児童・保護者・教職員
いわにしネット協議会委員・山口消防防災探究会・地域住民
参加人数 約70名

4 プログラム

【1日目】10月18日（土）

12:30	13:00	13:10	14:30	16:30	18:00	20:00	21:30		
受 付	開 会 式	【講義・演習】 ・南海トラフ巨大地震について ・個人ワーク ・避難所運営について	【避難所運営訓練】 T（トイレ） K（キッチン） B（ベッド） 上記3つのブースを 設け、グループに分か れて順番に体験	【炊き出し訓練】 イワタニガスコンロ、LP ガス、給水車の水等を使 用 ・白ご飯 ・豚汁	夕 片 付 食	【防災きもだめし】 講義・体験訓練等で 得た知識を生かし、 謎解きをしながら コースを周回	就 寝 準 備	就 寝	

【2日目】10月19日（日）

6:00	6:20	6:30	8:30	9:00	10:20	11:00	12:00		
起 床	ラ ジ オ 体 操	【朝 食】 防災食 ・パン ・スープ 【片付け・準備】	【防災対策座学・体験事前説明】 ・非常持ち出し品について ・災害体験ブースの事前説明	【災害体験ブース】 消火体験、応急処置体験、挟まれ救助体験、 耐震化・家具固定の説明体験 【フリー体験ブース】 防災グッズ販売・重機VR・ドローン体験、災 害VR体験、災害伝言ダイヤル体験、LPガス 復旧体験、ハイブリッド車電気供給体験		ふ り 返 り	閉 会 式		

5 活動の様子

1日目

《講義・演習》

開会式終了後、山口消防防災探究会代表の森重さんをはじめとする探究会メンバーによる講義・演習を受けました。南海トラフ巨大地震の被害想定や地震に対する備えについての演習、避難所運営の考え方やルールなど、災害対応について大切なことを学びました。



【山口消防防災探究会のみなさん】

【代表の森重さんによる講義】

【真剣に聞く参加者】

《避難所運営訓練》

避難所生活に必要なT（トイレ）、K（キッチン）、B（ベッド）の各ブースを、3つのグループに分かれて、それぞれ体験活動を行いました。Tブースでは、段ボールトイレ・ラップポン体験・トイレカー体験等、Kブースでは、川の水の浄水・給水車体験等、Bブースでは、ワンタッチテントの設営・簡易ベッドの設定・段ボールパーテーションの設置等、さまざまな体験をすることができました。簡易ベッドやラップポン等は市危機管理課、給水車は市環境政策課、トイレカーは株式会社キロクからお借りしました。



【ラップポン体験】



【川の水の浄化】



【簡易ベッドの設営】

《炊き出し訓練》

中学生と大人で炊き出し訓練を実施しました。専用炊き出しコンロで約70人分を調理しました。調理用の水は、浄水した川の水を使用しました。メニューは、白ご飯と豚汁です。炊き出し訓練と同時進行で、小学生を中心に火起こし訓練を実施しました。



【食材の準備】



【専用炊き出しコンロで調理】



【火起こし訓練】

2日目

《防災対策座学》

防災グッズとは関連災害死を防ぐものであること、非常持ち出し品には何がどれくらい必要かということ、ライフラインの復旧までの日数等を考慮して準備すること、などを学びました。ここでも具体的な物を見せていただいたり、数字で示していただいたりしたので、準備に何がどれくらい必要なのかをしっかりと考えることができました。



《災害体験ブース》

消火体験ブース（地元消防団）、応急処置体験ブース（山口消防防災探究会）、耐震化・家具固定の説明体験ブース（市建築指導課・建築住宅課、山口消防防災探究会）、挟まれ救助体験ブース（山口消防防災探究会）の4つのブースを、3つのグループに分かれて順番に体験していきしました。それぞれのブースで専門家による説明や具体的な体験ができ、とても有意義な時間となりました。災害時、何をしなければならないかについての心構えをもつことができました。

《フリー体験ブース》

災害体験ブース巡りの休憩時間に、防災グッズ販売・重機VR・ドローン体験ブース（株式会社キロク）、災害VR体験ブース（県防災危機管理課より借用）、ハイブリッド車電気供給体験ブース（山口トヨペット）、LPガスの点検・復旧体験ブース（山口LPガス協会）、災害伝言ダイヤル体験ブース（公益財団法人日本公衆電話会）の5つのブースを自由に体験して回りました。どれも日頃体験できないようなものばかりで、子どもも大人も楽しみながらも真剣に説明を聞いたり、実際に体験したりしました。

災害体験ブース、フリー体験ブースともに、多くの団体が快く引き受けてくださり、各方面での防災に対する意識の高さを実感することができました。



【消火体験】



【応急処置体験】



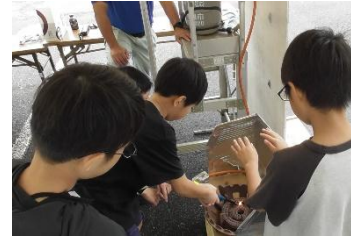
【耐震化・家具固定】



【挟まれ救助体験】



【災害VR体験】



【LPガス活用体験】



【災害伝言ダイヤル体験】



【ハイブリッド車電気供給体験】



【重機VR体験】

【児童・生徒の感想から】

- 避難所で必要なTKBを初めて知ることができました。TKBのことについて一つ一つ分かりやすく教えてくださったことで、それを実際に作ったり体験したりするときに、すぐにできました。いろいろなことを体験できて、もしも災害が起きたときにすぐに行動ができるようになったと思います。
- 防災キャンプを通じて、危機感がとても高まりました。災害は人ごとではないし、自分の身にもくるんだなと感じました。南海トラフ巨大地震の被害が少なくなるように、よく準備して備えておきたいです。
- 知識を得ることが大切だと知ったので、地震後のことをもっと話し合いをして、地域の人が正しく行動し避難できるようになったらいいと思います。
- 避難するときに、すぐに逃げるができるように、食料も確保したり携帯トイレの準備をしたりすることが大切だと分かったので、これからも防災グッズを確認していきたいなと思います。
- 最初は自分にあまり関係がないと思っていたけれど、東日本大震災の何倍もあることを聞いて怖くなりました。でも今回のキャンプに来てよかったなと思いました。学んだことを、もしものときにもできるようになりたいと思いました。他人ごとではないと思いました。
- 地震時の家の揺れを牛乳パックで表したり、VRでリアルな災害の体験ができたり、消火体験ができたりして、すごく分かりやすかった。また、地震の怖さがよく分かって、対策をいつもより真剣に学べたと思います。
- トイレはトイレカーがとても中身が充実していて見た目もよかったけれど、携帯トイレやビニールを使ったトイレは少し恥ずかしいと感じました。この体験を通して使い方などが分かったのでよかったです。